

R サンド 施工例③



Rサンド施工 令和 6 年 10 月 30 日 施工時間・120 分 施工面積・9 m²

軟弱な傾斜地の短い雑草をスコップで削り取って RC 転圧後 R サンドを施工しました。
果たして、降雨でも R サンドが流れ出さずに形を維持するのか経過をご覧ください。



アルカリ、日光遮蔽、透水性が雑草に利く

Rサンド® 施工例
お客様の施工写真をご紹介します

簡単に雑草対策

幾らやっても終わらない雑草対策 もう終わりにしませんか

Rサンド®



農事組合法人 **中北手ファーム** 様

秋田市上北手大戸字関上 218-1

TEL 090-2606-3012 FAX 018-835-5166

中北手ファーム代表の佐藤様よりRサンドについてお問合せを頂きました。

デジタルパンフレットをお渡ししてRサンドの特徴や効力をご確認頂き、無料施工をご提案致しました。

現場確認を兼ねて代表の立会いの下、施工場所を決定して施工前の写真を撮影しました。

プール育苗の場所の周囲全体を防草シートで雑草対策していて、時期的にも雑草は伸びていません。

防草シートを剥がすために周囲を確認したところ、水分が多くて足跡が残る位柔らかい傾斜地でした。

また、シートを剥がすと一部で土が流れた形跡がありました。

そのため、再生碎石を転圧して強度を確保することを提案して了解を得ました。

短い雑草が生えていましたが、施工日まで余裕がなかったため草取りや除草剤の散布は行っていません。

雑草は角スコップで土ごと簡単に削り取ることができました。道路側は土が硬くて取り除けませんでした。

軽トラ1台分の再生碎石を角スコップやタンパで土に食い込ませても軟らかい場所がありました。

2段傾斜地をフラットな傾斜にするため、Rサンドは一部で12cmの厚さになって1.3トン使用しました。

①10/24(木) 雑草除去及びRC40 転圧

雑草は角スコップで削り取りましたが、右側は勾配が複雑で土も硬かったので全部取り除くことはできませんでした。

軽トラ1台分のRC40を角スコップとタンパで転圧(2人で20分)して、施工場所を測量しました。

②10/28(月) 施工場所の区画とトンパックによる転圧

溝を切って、木材で施工場所の高さや場所を決定しました。

RC転圧後も軟らかい所はRサンドのトンパックを置いて更に転圧しました。

③10/30(水) Rサンド施工

前日転圧の為に置いたフレコンからRサンドをスコップで周囲に広げて、木製のタンパで形を整えました。

1トンで足りなかったため持って来た350kgのフレコンのRサンドを追加投入しました。

4人で敷き均し作業は30分掛かりました。2人は会社に戻りました。

2人が残ってコテで仕上げを行いました。途中で用事が出来て、ほぼ1人で仕上げました。

全部の作業が終了したのは、敷き均し作業開始の2時間後でした。

④追加観察の予定

今回の施工例は面積が小さいながらも、通常の施工と違う条件が複数あります。

1.雑草の上に施工、2.傾斜地、3.軟弱地盤、4.土壌とRサンドの間に雨水や排水の流れ込みの可能性
そのため、降雨や冬期間の凍上の影響などを継続して観察して、写真等を追加していきます。

このたび試験施工にお申込み頂きました中北手ファームの代表佐藤様に厚く御礼申し上げます。

秋田生コンクリート株式会社 〒010-0063 秋田市牛島西一丁目1番8号
IP 電話・050-3595-2572 FAX・018-832-2655 メール・rsand@rsand.jp
ホームページ・<https://rsand.jp>



①
プール育苗の周囲に防草シートを敷いて雑草の発生を防ぐと同時に排水時の勾配崩壊を防止しています。

中央の排水路(水色➡)は道路の下の暗渠に繋がっています。

そのため、写真②の黄色の部分の土は軟弱です。施工場所は緑色の点線内とし、一番高い所(防草シートの上)と一番低い所(黄色の部分のすぐ上)を一直線の勾配で施工することになりました。

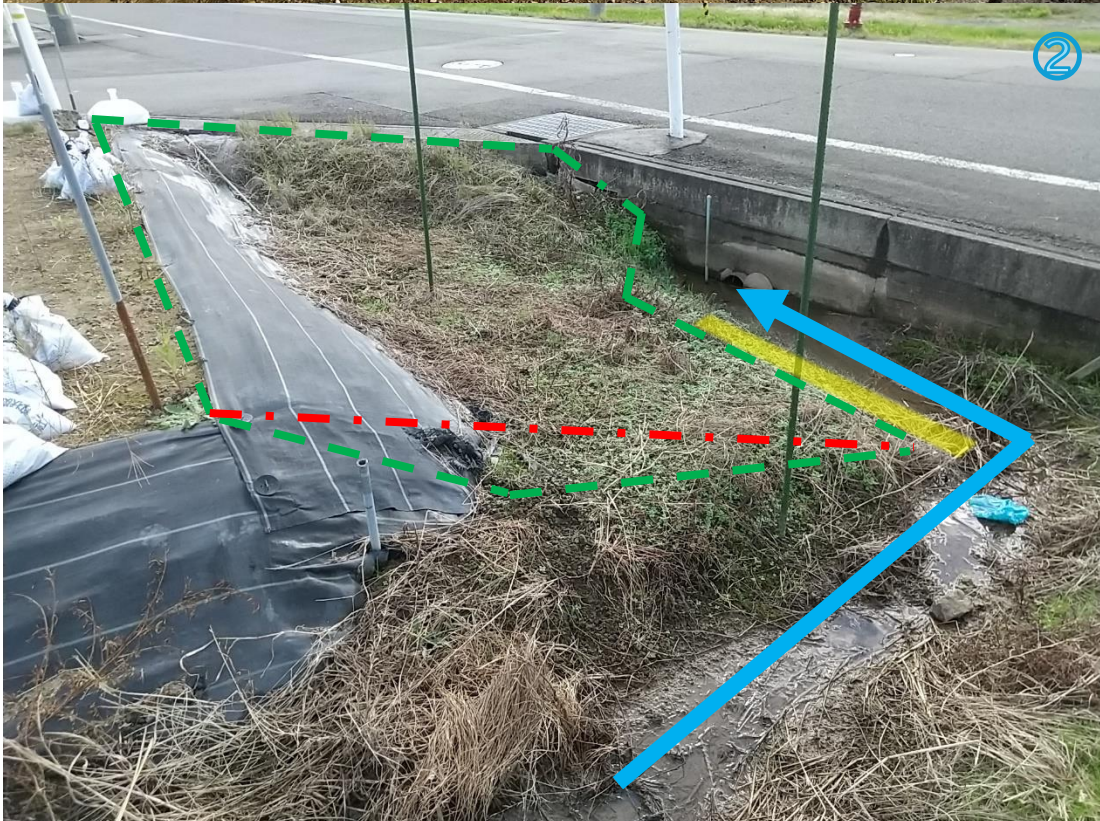
雑草が生えている場所も歩くと1cm位凹むところがあって全体的に軟らかい感じがしました。

赤の一点鎖線が仕上げるラインです。でも写真奥の(側溝が入っている)部分は―――に向かって傾斜しているので複雑な仕上がりになることが予想されました。

防草シートを剥がすと土が流れた跡(黄色の□)がありました。その下の黄色の丸い点線の部分は他の場所より水分を含んでいるようです。

このままR サンドを施工すると雨水がR サンドの下に入り込んで流れ出す可能性があります。

考えられる対策として、施工場所全体に碎石を敷いて転圧して強度を確保し、排水性を向上させることにしました。





④

最初に角スコップで雑草を削り取りましたが、写真⑤で の部分は他の部分より土が硬くて雑草を完全に除去できませんでした。写真⑤の左側の土が軟弱な部分は角スコップで土ごと短い雑草を簡単に取り除くことができました。

R サンドを施工する部分は、三角ホーの様な鉄製のタンパ(写真④右上に写っています)で削って溝を作って1×4 で高さを調整して、L 型鉄筋で固定しました。



⑤

軽トラ1台分の RC40 を角スコップとタンパを使って転圧しました。

写真⑥でユニックのアウトリガーが RC に食い込んでいるので R サンド施工後も車両の乗り入れはできません。

全体に RC を敷いて、写真③の丸い黄色の点線の部分に R サンドが入ったトンパックを置いて重さで転圧しました。



⑥

9:18 敷き均し完了、これからコテ仕上げ



施工日から 11 月 5 日(火) 午前 9 時 20 分までの気象データです。これから R サンドの様子を見ます。

月/日	10/30(水)	10/31(木)	11/1(金)	11/2(土)	11/3(日)	11/4(月)	11/5(火)
天気	☁→☀	☀	☁	☂→☀	☀	☀→☂	☀
気温℃ (最高/最低)	18.6/9.8	19.3/9.2	19.2/8.3	16.2/9.9	15.9/7.5	20.1/6.1	/8.9
日照時間 hr	3.6	7.7	5.6	0	4.8	5.2	
降水量 mm	日合計	0	0	0	0	19	
	10 分間最大	1	0	1	0	6	0



施工時と比較して全体的に変化はありません。右下の□の部分は急勾配のため、少し洗い流されています。





この部分はRサンドに
木材が食い込んでいます



木材を外していきます。角は立っています。右は木材が食い込んでいたため欠けてしまいました。
右側から R サンドを追加して角欠けを防ぎます。金ゴテで叩いて仕上げました。



角はコテで叩くと潰れます。雑草が見えるところにも R サンドを足しました。軟弱で長靴がぬかるみました。



左上の写真の部分は勾配が変化している場所のため、R サンドを多く盛りました。

青い□の部分は、固結が降雨や降雪に耐えて来春まで角が残っているか様子を見るためそのままにしました。
側溝との隙間から雑草が生えるのを防止するために、R サンドの細かい粒を撒きました。





茶色く見えるのは製造ロットによる薬品の色の具合や含水率の違いと思われます。

これで今年の施工経過の報告は終わります。

来春雪解け後、R サンド全体の滑りや施工面の状況や角欠けを確認します。

4 月以降は雑草の影響（R サンド施工時に雑草の除去をしなかったため）も観察します。

施工モニター様特別優待割引

施工モニターにご協力くださいました方にはRサンド全商品を
20%割引で販売致します。

法人の場合は、役員や社員も同じ条件でご利用できます。

ご利用期間の制限はありません。

右の**クーポンコード**をご注文時にお伝えください。→ **16BM2**



簡単に雑草対策

防草効果が長続き

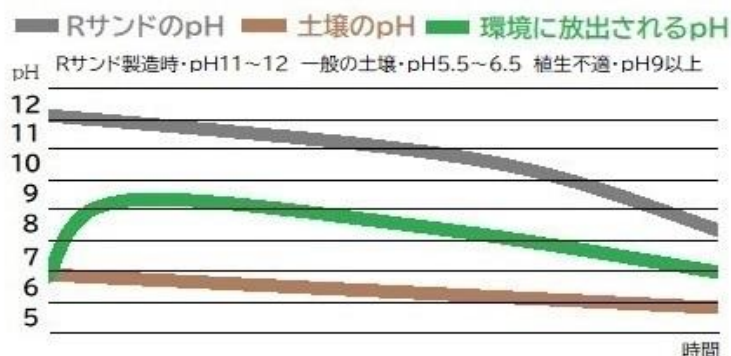
安心な品質証明書

お求めやすい価格

誰でも簡単に施工

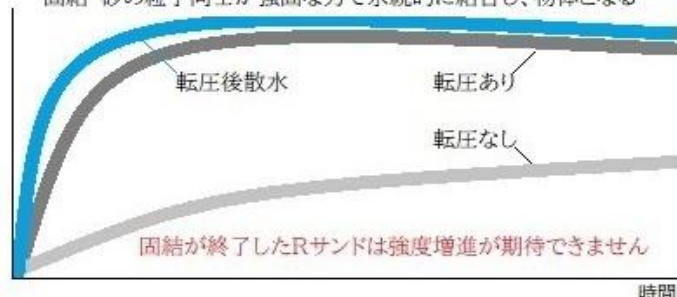


Rサンドのアルカリが地下浸透して環境に放出されるイメージ図



Rサンドの固結効果による強度増進のイメージ図

固結・砂の粒子同士が強固な力で永続的に結合し、物体となる



Rサンドの防草効果が長い理由

左の2つのイメージ図でRサンドの防草効果がわかります。

Rサンドを敷き均した時に転圧することで砂の粒子間の空隙がなくなり、固結しやすくなります。
さらに、散水することで固結の進行は早まります。
転圧しない場合でも固結は徐々に進みますが、粒子間の空隙が多いために強度は半減します。

一方、雨水(酸性雨はpH5.6)によってRサンドのアルカリ性が徐々に低下(中性化)してきます。
pH9を下回るとアルカリによる防草効果はなくなります。
しかし、固結によってRサンドの表面が硬くなっているため、雑草の種子がRサンドに入り込むことはありません。

ただし、歩行や車両の通行によってRサンドの表面の砂が多く剥がれて堆積した場合は、そこから雑草が生えてくる可能性があります。

Rサンド「活用マニュアル」には防草効果を延長する方法が記載されています。是非、ご利用ください。

「活用マニュアル」はRサンドご購入者様に差し上げています。